学校教育目標: **地域とともに夢や目標を実現する力を育てます** 

## ●六ツ川中だより

発行日:令和5年4月27日(木) NO.I

発行者:横浜市立六ツ川中学校 https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/mutsukawa/

## 新たなチャレンジを!!

校 長 妹尾 正彦

4月5日、143名の新入生を迎え、令和5年度をスタートとしてから3週間が経ちました。

私自身、2年ぶりの六ツ川中学校復帰となりましたが、この2年間でグランドと校舎の間で咲き誇っていた 桜の木たちがなくなり、グランドには格技場が建ち、職員の多くが入れ替わり。時間の経過を感じました。

そのような中でも変わらないのが、生徒に寄り添いながら熱い気持ちで指導や業務に当たる教職員の姿、 そしてそれに応えようとする生徒たちの姿でした。大変うれしく感じました。また、1年前六つ川小学校で卒業 証書を渡した生徒たちの成長した姿に、改めて中学校という時期は「心」、「体」そして「能力」が飛躍的に伸 びていく時期だということを再認識しました。そして、その大切な時期の子どもたちをお預かりする責任の大 きさを感じました。

今年度の始業式では、私が一昨年度の六つ川小学校の卒業式で話をした、幕末の志士である高杉晋作 が詠んだとされる

## 「面白き事もなき世を 面白く、すみなすものは心なりけり」

という句を紹介しました。「面白いと思えることのない世の中を面白くするのは自分の心次第だ」という意味の句で、中学校生活も自分の人生も「誰かが楽しくしてくれるのではなく、楽しくできるかどうかは自分次第」。だから、ぜひ「本気で頑張れる」何かを見つけてほしい。そのためには何事にもチャレンジしていく姿勢が大切だという話をしました。

また、入学式では、高校野球の名門、石川県の星稜高校野球部の山下元監督の

「心が変われば行動が変わる。 行動が変われば習慣が変わる。 習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。」

という言葉の話をしました。「心が変わる」つまり気持ちを変えることで、自分の人生や生き方はどのようにでも変えることができるということを。

13日の朝会で専門委員と実行委員の委嘱式を行いましたが、各クラスでそのほとんどの委員が立候補で決まったと聞きました。 六ツ川中学校の伝統とはいえ、生徒たちの前向きな気持ちを大変頼もしく感じました。 教職員一同、この生徒たちの前向きな気持ち、そして一人一人の成長を全力で支えていきます。 教育活動の充実に努めていきます。

保護者・地域の皆様の本校へのご理解とご協力の積み重ねは、本校にとって欠くことのできない大きな力です。本年度もご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

まもなく GW になります。安全と健康に気を付けて、有意義な連休をお過ごしください。